



平成 29 年 12 月 25 日  
佐賀大学大学院工学系研究科

## プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第 21 回支部大会を開催

### 【概要】

プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部第 21 回支部大会が平成 29 年 12 月 16 ー17 日の 2 日間、本学共催のもと理工学部にて開催されました。核融合科学研究所、同志社大学、ソニーセミコンダクタソリューションズからの依頼講演と、主に九州・山口地域のプラズマ研究を行っている大学からの一般講演が行われました。

### 【本文】

プラズマ・核融合学会九州・沖縄・山口支部第 21 回支部大会が平成 29 年 12 月 16 日（土）、17 日（日）の 2 日間、本学共催のもと、理工学部 6 号館 2 階多目的セミナー室にて開催されました。本大会は、電気電子工学専攻 大津 康德 教授が実行委員長となり開催されたもので、依頼講演 3 件、口頭発表 20 件、ポスター発表 36 件の合計 59 件の研究発表が行われ、プラズマの基礎分野、核融合プラズマ、プラズマ応用などプラズマに関する幅広い研究成果の発表が行われました。

依頼講演では、核融合科学研究所 教授の森崎 友宏 氏から「LHD における重水素実験の初期結果」と題して、次世代エネルギー源として期待されている核融合発電プラズマに関する基礎的な内容から最近の研究結果まで分かりやすく御講演いただきました。また、ソニーセミコンダクタソリューションズの辰巳 哲也 氏より「半導体デバイス加工とプラズマ制御技術」と題して、スマートフォンやノート PC の中に入っている半導体デバイスの加工の基礎的な内容から最新の研究成果とプラズマ制御技術について丁寧に御講演いただきました。更に、同志社大学 教授の和田 元 氏から「プラズマによる水素負イオンの生成」と題して、水素負イオンの発生方法やその核融合発電への応用に関する内容を御講演いただきました。

一般講演では、各大学の主に大学院生を中心に 20 件の口頭発表がなされ、また、大学院生、学部 4 年生、高専生など幅広い学年の学生によるポスター発表がなされました。本学からも教員 1 名、大学院生 6 名、学部 4 年生 4 名の講演発表がなされ、最新の研究成果に関して様々な研究機関の研究者と有意義な討論を行うことができました。



口頭講演の様子



ポスター講演の様子